

## 令和 7 年度における関係団体の取組状況

## 1 青森県中学校長会

事業名 ①	日常の学習活動における食育への取組（各校独自の取組）
第 4 次食育推進計画への位置付け	基本方向 1 - 2、配慮すべき事項 2
期 日	通年
場 所	学校内
活動内容・参加者等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「食に関する指導全体計画」の作成、それに基づく年間を通じた指導と振り返り、工夫・改善に努めている。</li> <li>2 保健体育科や家庭科の授業で食と健康等、食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるように努めている。</li> <li>3 生徒会の保健委員会の活動に健康と食を関連させたテーマを組み入れ、全校集会等で発表することで、全校生徒に考える機会を持たせるなど工夫している。</li> <li>4 学校給食をとおして、食の大切さを学ばせている。（給食センターからの配付物や昼の放送原稿として活用する）</li> <li>5 食物アレルギーについての教職員対象の校内研修会の実施。</li> <li>6 学校保健委員会で「食」をテーマにし、健康な体づくりやフードロスについて生徒と保護者、教職員が共に考える場面づくり。</li> </ol>
事業名 ②	学校外での食育の意識化を目指した取組（各校独自の取組）
第 4 次食育推進計画への位置付け	基本方向 1 - 1
期 日	通年
場 所	家庭・地域
活動内容・参加者等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 P T A が独自に企画運営し、給食試食会や調理実習、栄養教諭を講師に招いての食育研修会などを実施。</li> <li>2 手作りお弁当の日を設け、生徒が自分の手で弁当を作り、食と健康、栄養について考えさせる機会をもつ。</li> <li>3 大学と連携し、食と健康に関する生徒アンケートの結果から浮かび上がる生活習慣の乱れや健康を害する食生活の実態を明らかにし、生徒はもとより保護者や地域に結果と考察を還元することで、意識化と家庭での改善につなげてもらうきっかけづくりをしている。</li> </ol>

## 2 青森県高等学校長協会

取組 ①	高等学校の学習活動における食育の取組（各教科等における取組）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、2-2、3-2、3-3
活動内容・参加者等	<p>(1) 共通教科「家庭基礎」、「家庭総合」に関する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージの栄養的な特徴の理解と調理実習による技術の習得</li> <li>・自分自身の食事内容を振り返り、望ましい食生活を考えさせる学習</li> <li>・市販の弁当等から食材の原産地やフードマイレージを考えさせる学習</li> </ul> <p>(2) 家庭科関係の専門学科における教科「フードデザイン」、「食文化」、「課題研究」の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習</li> <li>・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習</li> <li>・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解</li> <li>・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解</li> <li>・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得</li> <li>・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習</li> </ul>
取組 ②	各学校における特色ある取組事例
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	<p>1 弘前実業高校（家庭科学科）（専門学科）</p> <p>科目名「フードデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習</li> <li>・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習</li> <li>・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解</li> </ul> <p>科目名「食文化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解</li> <li>・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得</li> <li>・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習</li> <li>・外部講師を招いての食文化の伝承に関する実習と講話</li> </ul> <p>科目名「課題研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園での「郷土料理カード」を使った交流 郷土料理に使用されている食材集めをするカードゲームを製作し、5歳児を対象にゲームを実施した。</li> <li>・郷土料理を取り入れたメニューの開発 主に津軽の西北地域で食べられている「すしこ」に青森県の食材を組み合わせたご飯物を考案。コンテストに応募することで青森の食文化の情報発信につながった。</li> </ul>

2月に県内のスーパーでの販売も予定している。

・子ども食堂の開催

地域のNPO法人の協力のもと、子どもの孤食解消を目的として「子ども食堂」を開催した。

約30名の親子が参加し、ゲームや食事を楽しんだ。

2 百石高校 食物調理科（専門学科）

(1)「家庭基礎」食物調理科1学年17名

おいらせ町内の保育園へ、本校生徒が講師役となる食育教室を実施。

(2)「栄養」食物調理科2年（22名）

栄養と健康に関するポスターを作成、優秀作品を校内3カ所（合計6枚）掲示。

(3)「総合調理」3学年25名

提供用の給食調理のほか、毎回「給食通信」を作成し1～2年生に配布。普通科での給食体験（各学年1回）を実施し、食事マナー指導も実施。

(4)「郷土料理」各学年

・「調理」：おいらせ町生活改善グループ連絡協議会 会長 柏崎幸子氏による郷土料理実習

・「生活産業基礎」（1年）青森県の郷土料理ポスター作成

・「食文化」（3年）日本の郷土料理ポスター作成

(5)「公衆衛生」2・3学年

青森県の食・健康習慣向上を目指すポスターや健康カレンダー作成。優秀作品を校内で掲示。

(6)課題研究を中心とする有志のイベントから科のイベントへ発展。

おいらせ町おやこ食堂（主催：佐々木商事株式会社 ミート農場）のイベント協力。「子供シェフのお弁当デー ～パパ・ママへ♡手作り弁当プロジェクト～」小学生以下の子をもつ親子（30組）を対象。

①10月4日開催（有志23名）

お弁当のおかずビュッフェでの料理提供。野菜スタンプ・食品クイズ・みそ玉づくり・玉子焼きに挑戦のワークショップを展開。

②1月31日開催予定（1年17名 2年22名）

お弁当おかずビュッフェの料理提供。食品クイズ・食生活すごろく・ふりかけづくり・手洗い教室のワークショップを展開。

(7)「課題研究」を中心とした有志活動

11月 おやこ食堂 in たかしお祭

事前に申し込んだ小学生以下の子供をもつおやこに甘口カレーとデザートを無償提供、農家さんから頂いた野菜のプレゼント。

(8) 各種レシピコンテスト挑戦（各学年）

地元食材・郷土料理を活かしたコンテストを優先的に紹介

例：黒にんにくレシピ、チー1 グランプリ、豆乳レシピ甲子園、  
全国高校生クッキングコンテスト

3 青森高校（普通科）

科目名「家庭基礎」：学校家庭クラブ活動（1年生全員）

- ・本校生徒はほとんどの生徒が進学し、親元を離れるが、課題として「生活スキル」の不足があると考え、食育に9年前から取り組んでいる。
- ・学校家庭クラブ活動として取り組んでいる「青高自炊塾」は、ホームプロジェクトと関連づけ食に関心を持たせるために、1時間調理実習を年間14回程度実施し、年3回のホームプロジェクトに繋げ、自炊力を高めることを目指している。保護者からは、将来の自炊に役立つと好評である。
- ・青森県農林水産部食の安全推進課が令和元年から実施している「高校生のための自炊塾」のモデルになったが、今年度で終了するのが残念である。
- ・本校独自の「青高自炊塾レシピブック」に、青森県農林水産部食の安全推進課作成の「コンビニうまめし」、紅屋商事からレシピも提供していただき、加えることができた。他に、消費者センター「お悩み相談室」、宅建協会「一人暮らしガイドブック」等を加え将来の自立に備え、生活スキルの向上を目指している。
- ・「青高自炊塾」のレシピから、「青高デカ夢クッキー」が卒業生の菓子店とのコラボで、商品化され、文化祭で販売することができた。
- ・一般財団法人家庭クラブ機関誌「FHJ」に私たちの活動として「青高自炊塾」の食育活動が全国に紹介される、青森県農林水産部食の安全推進課が令和元年度から主催している「高校生のための自炊塾」を青森県独自の取組として全国に発信した。

### 3 青森県特別支援学校校長会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、3-3、配慮すべき事項2
本校長会として特定の事業は実施していませんが、各特別支援学校の運営において、「食育」を推進する取組が行われています。	
活動内容・参加者等	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>授業について</p> <p>幼児児童生徒の障害の状況に応じて多様で継続的な取組が行われています。以下に主な取組を集約し報告いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培・調理活動：多くの学校で畑やプランターでの野菜作り、収穫した野菜を使った調理実習（バケツ稲づくりに取り組む事例等）を実施。ネットスーパーから購入した食材を使用した調理活動（寄宿舎）、非常食作り体験。</li> <li>○食習慣・マナー指導：各校共通して、食事のマナー（テーブルマナー含む）、よく噛んで食べることの大切さ、栄養バランスの良い食事の摂り方についての指導が集会活動などを通して実施されている。</li> <li>○専門的な学習：栄養教諭による専門的な食育授業（夏休みの食生活、砂糖・油・塩の摂り過ぎ注意に関する内容など）、SDGsに関連した食品ロス、賞味期限・消費期限、エシカル消費についての学習、高等部等でのカフェ運営や接客練習、メニュー開発、生活習慣病予防や肥満防止、思春期の食事の大切さに関する指導、給食センターの見学、郷土料理に関する学習（外部講師の招聘）。</li> <li>○個別・安全指導：個々の体格に合わせた主食量の算出や、摂食指導を通じた安全な食べ方の指導が行われている。</li> <li>○係や委員会活動：給食目標の発表、旬の食品紹介、給食クイズ</li> </ul>
各研修会について	<p>保護者や教職員を対象とした安全確保や意識啓発のための研修が中心です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者対象：給食試食会の実施と、食に関する情報の提供・講話。非常時用備蓄食品の試食体験。パン作り体験、調理法などのPTA研修会。</li> <li>○教職員対象：【安全管理】嘔吐物処理の対応、アレルギー対応、エピペンの取り扱いに関する研修が多くの学校で実施。【指導力向上】医療的ケア児の摂食指導（食形態含む）に関する研修、初任者向けの食育講義。【健康管理】QOL研修を通じた野菜摂取量や塩分に関する講義、生活習慣病予防・栄養管理に係る学習会。</li> </ul>

<p>イベント的なもの</p>	<p>給食メニューの工夫や地域・企業と連携した活動等が行われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別献立の実施：郷土や県外の料理、外国料理、全国学校給食週間の特別メニュー、卒業生や生徒のリクエスト・考案献立の提供が広く行われている。</li> <li>○地産地消・特産品：「ふるさと産品給食の日」の実施や、青森県産食材（りんご、ほたて等）の食べ比べ、地場産物に関するクイズ、りんごの受粉など。</li> <li>○外部連携・校外活動：企業の商品開発プロジェクト（スマイルフードプロジェクト in 東北 2025）への応募。農福学連携によるリンゴの栽培や販売活動。外部講師を招いた「せんべい焼き体験」、ホテル等でのテーブルマナー講座。</li> <li>○防災：非常時用備蓄食品の提供や、それを活用した給食の実施。</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>情報発信や日常的な環境づくりによる食育の定着を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信：給食だより、献立表への食材情報の掲載、学校ホームページやブログでの写真・コメント付き紹介、ローカルラジオでの献立紹介。</li> <li>○掲示・展示：旬の食材、栄養三色、給食目標などのポスター掲示、デジタルサイネージを活用した盛り付け見本や調理過程の提示。</li> <li>○生徒会・委員会活動：給食委員会による昼の放送（献立や一口メモの紹介）、調理員への感謝の手紙の作成や「おいしい給食ありがとう会」の実施、ポスター作成。</li> <li>○健康・環境への取組：肥満傾向のある児童生徒への個別体重計測や生活習慣指導、給食の野菜くずを使った肥料づくりなどの環境への配慮も行われている。</li> </ul>

#### 4 青森県学校保健会

事業名 ①	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	各地区学校保健会において実施
場 所	各地区学校保健会において実施
活動内容・参加者等	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育等を推進。
事業名 ②	令和7年度青森県学校保健・安全・給食研究大会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和7年10月31日（金）
場 所	深浦町
活動内容・参加者等	学校における食に関する指導の取組発表
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

## 5 公益財団法人青森県学校給食会

<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-2</p>																								
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>1 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="512 533 1385 660"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産品フードモデルの貸出</td> <td>7ヶ所</td> <td>八戸市立学校西地区給食センター等</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="512 689 1385 817"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フードモデル(教材セット)の貸出</td> <td>16ヶ所</td> <td>三戸町学校給食共同調理場等</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和7年12月末時点</p> <p>2 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="512 1070 1385 1198"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成金額</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTA食育活動支援事業</td> <td>25,000円</td> <td>東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和7年12月末時点</p> <p>3 地場産品を活用した食育を推進するとともに、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイデアを活かした料理の青森県学校給食レシピコンテストを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="512 1518 1385 1742"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和7年度実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募数</td> <td>670点(26校) (小学校145点、中学校521点、特別支援学校4点)</td> </tr> <tr> <td>表彰数</td> <td>最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	県産品フードモデルの貸出	7ヶ所	八戸市立学校西地区給食センター等	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	フードモデル(教材セット)の貸出	16ヶ所	三戸町学校給食共同調理場等	事業名	助成金額	助成対象事業者	PTA食育活動支援事業	25,000円	東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)	令和7年度実施状況		応募数	670点(26校) (小学校145点、中学校521点、特別支援学校4点)	表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
県産品フードモデルの貸出	7ヶ所	八戸市立学校西地区給食センター等																							
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
フードモデル(教材セット)の貸出	16ヶ所	三戸町学校給食共同調理場等																							
事業名	助成金額	助成対象事業者																							
PTA食育活動支援事業	25,000円	東北町立上北小学校PTA (参加人員 71名)																							
令和7年度実施状況																									
応募数	670点(26校) (小学校145点、中学校521点、特別支援学校4点)																								
表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部2点、特別支援学校の部1点、中学校の部4点																								
<p>取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めている。</p>																								

## 6 青森県学校給食センター連絡協議会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び食品ロス削減等に関する研修会等を開催し、食育推進事業に取り組んだ。
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	学校給食関係団体と連携して、食育推進事業を支援していきたい。

## 7 青森県養護教諭会

<p>第4次食育推進 計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-2</p>
<p>活動内容・ 参加者等</p>	<p>○会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭や学校栄養職員と連携し、発達段階や子どもたちの実態に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。</li> <li>・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。</li> <li>・食物アレルギーについて、児童生徒の詳細な状況把握と職員への周知、職員を対象とした研修の実施。</li> <li>・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会、調理実習等の実施。</li> </ul>
<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連付けながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取組を行うことができる。</p>

## 8 青森県学校栄養士協議会


事業名 ①	ふるさと産品給食の日
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-2、3-3、配慮すべき事項2
期 日	6月, 11月
場 所	各施設及び受配校
活動内容・参加者等	・地域や青森県産の食材を使用した学校給食の献立を作成し、給食日よりや給食の時間の放送などで県産品や地域の特産物を紹介し、児童・生徒や保護者に対して地産地消の啓発を行ったり、授業の中で、献立を活用し地域の特産物について扱ったりした。
事業名 ②	生活習慣病予防対策を含めた食に関する指導及び健康課題対策のための個別的な相談指導
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、2-1、配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	各施設及び受配校
活動内容・参加者等	・各施設で生活習慣病の予防をテーマとした食に関する指導や、ICTを活用した授業を行った。 ・食に関する健康課題のある児童・生徒に対し、個別的な相談指導を行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	・地域の農家等と連携し学校給食に地域の農産物を取り入れている。 ・年2回研修会を行っている。

## 9 特定非営利活動法人青森県消費者協会


事業名 ①	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（3回）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための講演会及び料理講習会の開催</p> <p>■7月13日（日） 親子で学ぼう！消費生活「親子で一緒に作ろう！夏のスタミナ豚肉料理」 講師：青森中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏 会場：アピオあおもり 1F 調理実習室 参加者：親子10組（保護者11名、児童13名） 共催：一般社団法人青森県養豚協会</p> <p>■11月14日（金） 消費生活大学院講座「県産豚肉料理教室」 講師：栄養士 今井裕子氏 会場：アピオあおもり 1F 調理実習室 参加者：13名 共催：一般社団法人青森県養豚協会</p> <p>■11月29日（土） 親子で学ぼう！消費生活「親子で一緒に作ろう！豚肉料理で楽しいクリスマス！」 講師：青森中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏 会場：アピオあおもり 1F 調理実習室 参加者：親子9組（保護者10名、児童13名） 共催：一般社団法人青森県養豚協会</p>
事業名 ②	食の安全・安心推進事業（3回）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-2、3-2
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会の開催</p> <p>■6月26日（木） 令和7年度 消費生活大学講座 第2回〈県からの受託事業〉</p>

	<p>「日本が誇る「だし」や「発酵食品」の文化」  講師：（公財）21 あおもり産業総合支援センター  チーフプロジェクトマネージャー 加藤哲也氏  会場：アピオあおもり 2F イベントホール  参加者：105名（うち、19名 YouTube 参加）</p> <p>■8月8日（金）  移動消費生活講座＜県からの受託事業＞  「知って得する食品表示」  講師：青森県消費生活センター業務部 教育啓発課職員  会場：中泊町総合福祉健康センター（湯らぱ〜く）大広間  参加者：62名</p> <p>■9月25日（木）  令和7年度 消費生活大学講座 第5回＜県からの受託事業＞  「健康食品」で健康が買えますか？〜トクホ、機能性表示食品、機能性食品…〜」  講師：群馬大学 名誉教授  食品の広告問題研究会 主宰 高橋久仁子氏  会場：アピオあおもり 2F イベントホール  参加者：119名（うち、18名 YouTube 参加）</p>
<p>取組の具体的手法  や特徴的なこと  (他団体との連携など)</p>	<p>料理教室では青森県養豚協会から食材提供のご協力をいただいた。  消費生活大学講座では来場できない方でも受講できるよう、講演後2週間程度のYouTube配信を行った。</p>

## 10 青森県食生活改善推進員連絡協議会


事業名 ①	おやこの食育教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、3-2
期 日	令和7年7月～令和8年1月末まで
場 所	県内12ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育5つの力」をテーマに、「朝食をとること」「うす味(減塩)に慣れること」に重点を置く。</li> <li>・親子で調理体験することで、食事の大切さを学び、親子のコミュニケーションの場を提供する。</li> <li>・年長児から小学生と保護者。(内容が理解できる年齢として、年長から小学生を対象)</li> </ul> 
事業名 ②	生涯骨太クッキング(生活習慣病とロコモ予防)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	県内8ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防をテーマに、低栄養、ロコモ、認知症予防に取り組む。</li> <li>・肥満を防ぐための適正体重の維持の推進。</li> <li>・「運動・身体活動」「社会参加(人とのつながり)」推進に取り組む。</li> <li>・地域住民、成人から高齢者。</li> </ul>
事業名 ③	男性料理教室(自由選択事業)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3、3-2
期 日	令和7年8月～令和8年1月末まで

場 所	西北地区(五所川原市)
活動内容・ 参加者等	・自立支援に向けて、「生きていくための20品目」をテーマに、料理教室を実施。 ・成人男性。(男性の社会参加や仲間づくりのきっかけ提供)
事業名 ④	災害時の食事支援教室(自由選択事業)
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-5、2-3、3-3
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	八戸市
活動内容・ 参加者等	・「災害時に役立つ食事支援ハンドブック」などを活用し、「平時からの備え」として、備蓄食品の保存法、料理法、炊き出しの方法などを習得しながら、住民への伝達もおこなう。
事業名 ⑤	やさしい在宅介護食教室(自由選択事業)
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-5、2-2、2-3、3-2
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	三戸管内(田子町)
活動内容・ 参加者等	・家庭でできる介護食等をテーマに、教室を実施し、在宅介護に必要な調理の知識、技術の習得をはかる。
事業名 ⑥	ヘルスサポーター養成を通じた、地域をつなぐ健康プロジェクト
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-3、1-5、2-3
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	県内で、若者世代6ヶ所、働き世代6ヶ所、 高齢世代(シニアカフェ)20ヶ所
活動内容・ 参加者等	・ヘルスサポーターを育成することで、地域とのつながりの強化や主体的に健康づくりを進める人の増加、さらに社会参加を促進する。 ・「誰一人取り残さない社会の実現」を図る。

事業名 ⑦	乳児健診等におけるだし活減塩活動(県委託)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1
期 日	令和7年4月～令和8年3月末まで
場 所	全市町村
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だしの試飲→試供品の試飲。</li> <li>・試供品の提供とちらしの配布。</li> <li>・アンケートの実施。</li> <li>・1才6ヶ月児健診へ来所する保護者とその子ども。</li> </ul> 
事業名 ⑧	かんたん野菜レシピ普及事業(県委託)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-3
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	各保健所管内 4～5回
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の野菜摂取量の増加を図るため、簡単にできる野菜料理の試食とレシピの提供及びアンケートの実施。</li> <li>・若い世代、働き盛り世代を中心。</li> </ul>
事業名 ⑨	ヘルスサポーター活用モデル事業
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3、3-2
期 日	令和7年9月～令和8年1月末まで
場 所	青森市1箇所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加、多世代交流の推進を目的に、食生活改善推進員とヘルスサポーター(5～10人)が協力して、講習会を開催する。</li> </ul>
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検温、手洗い消毒の徹底、マスク着用、会員自身の健康管理の徹底。</li> <li>・国や各市町村の方針に基づき、活動を進める。</li> </ul>

## 1 1 青森県生活協同組合連合会



事業名 ①	JA 共済きずなの青い森プロジェクト 食育プログラム
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、3-3
期 日	①7月25日(金) ②10月3日(金)
場 所	平内町弁慶地区(JA きずなの青い森) 平内町山村開発センター
活動内容・参加者等	JA 共済連青森主催「きずなの青い森プロジェクト」(森林・木工・食育プログラム)の、食育プログラムを担当。県産農産物や食品ロスに関するクイズを実施し、理解を深めた。 ①平内町の小学5・6年生20名 ②農協・生協・森林組合の組合員・町民等45名
事業名 ②	柴田学園大学の「健康づくり公開講座」を共催
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-1、3-3
期日・場所	①7月15日(火) 弘前市ヒロロ ②7月22日(火) 青森市アウガ ③7月31日(木) むつ市下北文化会館 ④8月20日(木) 八戸市福祉公民館
活動内容・参加者等	会場ごとの講師とテーマで、食と健康に関する講演をクイズや実験を交えて実施。県生協連は会員生協への参加呼びかけと当日会場でのベジチェックの測定実施。若い世代の参加をめざし、夏休み期間中心に開催し、高校や大学・短大に案内を行った。
事業名③	ベジチェックによる野菜摂取推定量の測定
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
活動内容・参加者等	県生協連として5台のベジチェックをリースし、県内各地で活用できるようにしている。会員生協の様々な活動場面、まちかど健康チェック等の健康度測定会、生協店舗での巡回測定会、生協大会等で、気軽に参加できる野菜の推定摂取量の測定を実施し、食生活の見直しのきっかけを作った。4月～12月迄で6,870人が測定に参加。
事業名④	第2回食べる・たいせつ フォーラムの開催(11月30日)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-1、3-1、3-3
期日・場所	11月30日(日) ねぶたの家「ワ・ラッセ」
活動内容・参加者等	「子どもたちのために、「食」と「環境」を未来につなごう！」を開催テーマに開催。

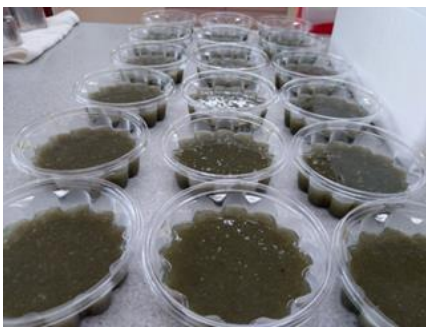
	<p>1. 「食べる・たいせつ」展示と体験コーナー（17ブース）約250人 行政・諸団体6ブース 取引先企業11 が参加</p> <p>2. 「食べる・たいせつ」公開講座 142人参加</p> <p>■学習講演（東北農政局犬飼次長）「みどりの食料システム戦略 ってなあに？環境にやさしい消費って？」</p> <p>■若者たちからの実践報告</p> <p>①「みどり戦略学生チャレンジ」（柴田学園大学）</p> <p>②「ご当地！絶品うまいもん甲子園」（青森県立弘前実業高校）</p> <p>③「地域を知り、地域と関わり、地域の未来を考える、北の杜学」 （青森市立北中学校）</p> <p>3. 「健康づくりコーナー」QOL健診（生協版）スポレク体験91人</p> <p>4. お買い物コーナー</p> <p>西のひろば 6台のキッチンカーとテント2張りが出店</p> 
<p>事業名⑤</p>	<p>QOL健診（生協版）の開催</p>
<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-3、2-1</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>弘前大学 COI が開発した「QOL 健診（簡易版）」を県医師会「健やか力推進センター」との共催で実施。問診を含め5つの測定の後、結果シートをもとに専門家による説明を受けていただき、生活習慣課題を確認できる測定会を開催。測定は、研修を受講した「生協健やか隊員」が担当した。</p>



開催日	会場	共催（主催）生協	定員	実績
10月18日・19日 (土) (日)	弘前大学大学祭	弘前大学生協主催	80	290
	弘前市文京町一番地			
11月1日(土)	コープあおもりるいけ店2F	コープあおもり	90	42
	八戸市南類家3-1-1	八戸医療生協		
11月13日(木)	五所川原市学習情報センター	コープあおもり	80	52
	五所川原市一ツ谷503-5	津軽保健生協		
11月30日(日)	ねぶたの家ワ・ラッセ2F多目的室	青森県民生協	100	91
	食べるたいせつフォーラム	コープあおもり		
	青森市安方1-1-1			
2月14日(土)	コープあおもり和徳店2F	コープあおもり	80	
	弘前市野田2-2-18	津軽保健生協		
				475



## 1 2 青森県生活研究グループ連絡協議会

事業名 ①	“津軽の味っこ” 伝承料理講習会（弘前地区連）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、3-2
期 日	令和7年12月24日（水）
場 所	弘前市清水交流センター調理実習室
活動内容・参加者等	<p>【内容】 郷土料理の調理実習と交流会 赤飯、棒鱈の煮付け、高菜の粕汁、干し柿入り紅白なます</p> <p>【参加者】 弘前市民13名、地区連会員4名、 青森県中南農林水産事務所2名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;実習の様子&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;完成した料理&gt;</p> </div> </div> <p>*平成24年から開催し、今年で14年目（計16回）</p>
事業名 ②	グループ員研修会（五所川原地区連）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-2
期 日	令和8年2月下旬 ※開催予定
場 所	コミュニティセンター三好
活動内容・参加者等	<p>【内容】 ・最高齢の会員が講師となり、「絵巻ずし」の作り方について、会員に伝承する。</p>
事業名 ③	第40回 つがる市くらしの工夫展（つがる市連）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、3-2
期 日	令和8年2月6日（金） ※開催予定

場 所	つがる市生涯学習交流センター 松の館
活動内容・ 参加者等	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つがる市の農林水産物を使った料理や次世代に伝えたい料理の展示</li> <li>・女性団体による農産物や加工品の販売 ほか</li> </ul> <p>【参加者】</p> <p>生活改善グループや女性団体、一般市民 約200名</p>
事業名④	食の研修会（つがる市連）
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方針3-1, 3-2
期 日	令和7年12月10日（水）
場 所	つがる市生涯学習交流センター 松の館
活動内容・ 参加者等	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習による郷土料理・地産地消料理の継承 えご天、えご天豆乳ゼリー</li> </ul> <p>【参加者】</p> <p>会員14名</p>
	 <p>実習の様子</p>  <p>完成したえご天</p>
事業名⑤	令和7年度「手づくりの味と技を楽しむ会」（鱈ヶ沢地区連）
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1, 3-2
期 日	令和7年9月9日（火）
場 所	鱈ヶ沢町総合保健福祉センター 栄養指導室
活動内容・ 参加者等	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理及び地産地消料理の調理実習による生産者と消費者の交流</li> </ul>

	<p>・調理実習 しとぎ餅、えご天豆乳ゼリー、しょうゆ漬けの素</p> <p><b>【参加者】</b> 一般消費者8名、会員15名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">実習の様子 <span style="margin-left: 150px;">完成した料理</span></p>
<b>事業名 ⑥</b>	郷土料理体験の受入（すいとん等）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向3-2
期 日	令和7年11月8日（土）
場 所	まなかのカフェ（東北町）
活動内容・参加者等	<p><b>【内 容】</b> すいとん、おにぎりづくりの体験</p> <p><b>【参加者】</b> 東北町文化保育園の園児と保護者 12名</p> <p><b>【講 師】</b> 東北町特産品販売促進協議会 3名</p>
<b>事業名 ⑦</b>	郷土料理体験の出前講座
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-3、基本方向3-2
期 日	令和7年11月9日（日）
場 所	美須々コミュニティセンター（東北町）
活動内容・参加者等	<p><b>【内 容】</b> 手打ちそばと長いも入りきなこだんごづくりの体験</p> <p><b>【参加者】</b> 美須々町内会 23名</p> <p><b>【講 師】</b> 切田わくわくグループ1名、クローバルグループ3名</p>

<p>取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>(五所川原地区連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師となった会員は「絵巻ずし」の作り方を熟知しており、自らが持つ技術を伝承するために研修会を開催した。</li> </ul> <p>(つがる市地区連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の研修会は、えご天づくりの技術保持者である鱒ヶ沢地区生活改善グループ連絡協議会会員を講師に迎えて、地域に伝わる食文化を継承した。</li> </ul> <p>(鱒ヶ沢地区連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員が培った調理技術を生かし、地元食材を用いた調理実習により地産地消の推進と食文化の伝承を進めている。</li> </ul>
---	--

### 1 3 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	バケツ稲作り体験の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	4月～10月
場 所	希望する県内全小学校
活動内容・参加者等	<p><b>目的</b></p> <p>J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、バケツで稲を育てるという一連の農作業を通して、米や稲作文化だけではなく、広く農業全般についての学習機会をつくり、農業の持つ多面的機能への理解を深めてもらい、ごはん食を中心とした日本型食生活や国産農畜産物への関心を高めるきっかけとすること。</p> <p><b>対象</b></p> <p>希望する県内全小学生</p> <p><b>活動内容</b></p> <p>種もみとバケツを使って稲を育てるという、一連の栽培過程を体験する。</p> <p><b>実績</b></p> <p>令和7年度実施校：39校、対象児童数：1,282人</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	県内の各J Aが準備や栽培指導を実施。

事業名 ②	小学5年生社会科副読本「いのちをはぐくむあおもりの農林水産業」の編集・発行
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	4月～3月
場 所	県内全小学校他（配布先）
活動内容・参加者等	<p><b>目的</b></p> <p>青森県の基幹産業である一次産業、農業・林業・水産業の正しい姿を伝えることや環境保全・伝統文化継承など農林水産業の果</p>

	<p>たす役割を理解してもらい、「いのち」の大切さ、「食料」の重要性を学んでもらうこと。</p> <p><b>対象</b></p> <p>県内全小学生（5年生全員）</p> <p><b>活動内容</b></p> <p>社会科副読本（児童用・教師用）を作成・発行するため、県内小学校教諭を構成員とする編集委員会を設置し、現在使用されている教科書との整合性を図るとともに、改訂部分の修正や指導に関わる内容について見直す等の編集作業を行い、発行・配布している。</p> <p><b>実績</b></p> <p>令和7年度版：児童用約1万部、教師約1,000部を配布</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	一般社団法人青森県水産振興連合会、青森県森林組合連合会、青森県土地改良事業団体連合会、青森県教育庁、青森県とJA青森中央会が、県内小学校教諭の協力を得て企画・編集。

事業名 ③	第44回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	5月～12月
場 所	青森県農協会館（受付、審査等）
活動内容・参加者等	<p><b>目的</b></p> <p>県内小中学生が、ごはんやお米等とのかかわりを題材とした作文・図画の作成を通じて、稲作をはじめとする農業についての学ぶとともに、食料・農業の重要性への理解を深めてもらうこと。</p> <p><b>対象</b></p> <p>県内小・中学生</p> <p><b>活動内容</b></p> <p>作文・図画両部門共通のテーマとして、毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを自由に表現してもらう。</p> <p><b>実績</b></p> <p>令和7年度応募状況          作文：297点（52校）          図画：146点（75校）</p>

取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	県内教育関係者や青森児童美術研究会、東奥日報社を構成員とする審査委員会を設置し、入選作品を選定。
------------------------------------	--

事業名 ④	東奥日報社女性倶楽部「ジョシマル」を活用した農業・JAへの理解促進に係るイベントの実施
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	①8月23日 ②10月18日
場 所	①JAつがる弘前管内 園地、JAつがる弘前やさい育苗センター、四季彩館、津軽藩ねふた村 ②JAおいらせ管内 園地、JAおいらせ本店、六戸野菜センター
活動内容・ 参加者等	<p>①採って食べて真夏の旬体験！嶽きみ収穫体験ツアー in弘前 ②秋の味覚を体感♪ごぼう収穫体験ツアー in三沢</p> <p><b>目的</b></p> <p>①②共に 野菜の収穫や学習・視察等を通して、ジョシマル会員および一般消費者等に農業の魅力・現状を知ってもらうこと。</p> <p><b>対象</b></p> <p>①②共に ジョシマル会員および一般消費者等（応募方式）30人対象。</p> <p><b>活動内容</b></p> <p>JAつがる弘前管内で生産されている嶽きみの収穫体験やJAおいらせ管内で生産されているごぼうの収穫体験を実施するとともに、JA施設等を訪れ、生産現場での苦労や創意工夫、収穫の喜び、また、JAに対する理解醸成を目的としている。 また、県産農産物をふんだんに使った特別ランチを味わったり、地域にまつわる体験、見学を通じて地元の魅力を再発見してもらう。</p> <p><b>実績</b></p> <p>①定員30名に対し、応募が139名。 満足度アンケート調査結果：満足した100% ②定員30名に対し、応募が80名。 満足度アンケート調査結果：満足した 84% /まあまあ 18%</p>

	 
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	東奥日報社女性倶楽部「ジョシマル」と共催。ジョシマル会員へのメールマガジンや東奥日報新聞記事でイベント周知し、参加者を募っている。

事業名 ⑤	農業高校とJAの連携活動
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	①7月11日、②8月29日、③9月10日、④10月15日
場 所	<p>①JAつがるにしきた、JAごしょつがる管内 JAごしょつがる木造総合支店、多目的農業施設、JAつがるにしきた稲垣やさいセンター、JAつがるにしきた津軽北部統括支店</p> <p>②青森県立名久井農業高等学校</p> <p>③JA八戸管内 五戸営農センター、川内整備センター、川内給油所、中央整備センター、八戸営農経済センター・中央グリーンセンター、名川野菜集出荷場</p> <p>④JA津軽みらい管内 黒石青果センター、平川カントリーエレベーター、産直センターひらか「アグリアス」、JA津軽みらい本店</p>
活動内容・参加者等	<p>①青森県立五所川原農林高等学校生徒によるJAつがるにしきた、JAごしょつがる施設見学</p> <p>②青森県立名久井農業高等学校への農業・JA理解促進のための出前授業</p> <p>③青森県立名久井農業高等学校生徒によるJA八戸施設見学</p> <p>④青森県立柏木農業高等学校生徒によるJA津軽みらい施設見学</p> <p><b>目的</b></p> <p>①②③④共に JA各施設の見学とJA新人職員との意見交換会を通じて、県内農業高校生のJA理解を深めること。また、JAを身近に感じてもらうことで、JAを就職選択先の1つとしてもらうこと。</p>

	<p><b>対象</b></p> <p>①青森県立柏木農業高等学校 生物生産科 1年生11名、環境工学科 1年生 8名、食品科学科 1年生16名、教員</p> <p>②青森県立名久井農業高等学校 生物生産科 2年生24名、環境システム科 2年生 7名（2名欠席）、教員</p> <p>③青森県立名久井農業高等学校 生物生産科 2年生24名、環境システム科 2年生 9名、教員</p> <p>④青森県立五所川原農林高等学校 生物生産科 2年生22名、教員</p> <p><b>活動内容</b></p> <p>①③④共に          連携活動では、JAおよび農業に対する理解を深めてもらうため、JA施設の見学やJA事業の紹介、JA新人職員との意見交換を実施している。</p> <p>②出前授業では、施設見学前に中央会職員が学校に出向き、JAや事業について授業やアクティブラーニングを行い、生徒にJAに対する予備知識を得てもらう。</p> <p><b>実績</b></p> <p>令和7年度          JAつがるにしきた、JAごしょつがると青森県立五所川原農林高等学校で実施。JA八戸と青森県立名久井農業高等学校で実施。JA津軽みらいと青森県立柏木農業高等学校で実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>取組の具体的手法          や特徴的なこと          (他団体との連携など)</p>	<p>青森県立五所川原農林高等学校生徒によるJA施設見学は、JAつがるにしきた、JAごしょつがるの2JA合同で実施。</p>
<p>備 考</p>	<p>令和4年度以降は、JA十和田おいらせと青森県立三本木農業恵拓高等学校で年1回の施設見学を継続（中央会はサポートを実施）。</p>

## 1 4 全国農業協同組合連合会青森県本部

事業名 ①	食育絵本を活用した、おにぎり教室の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-2、3-3
期 日	6月～11月
場 所	県内幼稚園・保育園
活動内容・参加者等	青森米本部主催のおにぎり教室と連携し、県内20の幼稚園および保育園において、本会作成のオリジナル絵本を活用した読み聞かせを実施し子どもたちの「食」への関心を高め「県産品」、「地産地消」に対する理解を深めた。
事業名 ②	令和7年度やさい作品コンクール
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-1
期 日	①募集期間 7月1日(火)～9月6日(金) ②審査会 10月15日(水) ③入賞展示 1. 11月15日(土) 2. 11月29日(土)～11月30日(日)
場 所	①～② 青森県農協会館 ③-1 青森産業会館 ③-2 青森県総合社会教育センター
活動内容・参加者等	子どもたちから県産やさいに関する知識を深め、郷土で生産されたやさいに愛情を持ってもらうことを目的として県内の小学生を対象に開催した。 応募点数 図画：552点 習字(半紙)：3,359点 習字(条幅)：153点 合計：4,064点 入賞点数 図画：39点 習字(半紙)：39点 習字(条幅)：39点 合計：117点 青森市教育委員会の図画工作科部会・国語部会から推薦いただいた審査員に審査を委嘱している。

	<p>継続開催することで本コンクールへの目的や意義が各校や家庭、地域に浸透していることや食生活に欠かすことのできない野菜、勤労の尊さを身近に感じられる作品が多かったとの講評をいただいている。</p>
備 考	<p>2月 青森県 J A 女性協議会・青森県中央会と連携して、保育園での読み聞かせ実施予定。 県産農畜産物を使用したレシピコンテストを SNS 上で実施予定。</p>

## 15 一般社団法人青森県りんご対策協議会

事業名 ①	青森りんごキッズ向けサイト（「青森りんご for キッズ」）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	WEB
活動内容・参加者等	現代の生活様式（幼少期からITが身近にある環境）や授業形態の変化（小学校低学年からのタブレット端末活用やネット検索による学び）に対応するため、青森りんご食育総合サイト「青森りんご for キッズ」を開設。情報更新を随時行っている。 ◆今年度は新たに未就学児用の青森りんご学習冊子をダウンロードコーナーに追加。
事業名 ②	学習用資材作製
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	WEB、全国
活動内容・参加者等	青森県産りんごの品種や栽培方法について記載した下敷きなどの教育資材を作製し、関係団体等を通じて県内の幼稚園・小学校等でも活用されている。 ◆下敷きは青森りんご公式サイトからダウンロード可能。
取組の具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	その他、全国の管理栄養士養成課程のある大学約50校（青森県内は青森県立保健大学、柴田学園大学、青森中央短期大学）と連携し、栄養教諭や管理栄養士を目指す学生を対象とした「青森りんご次世代オピニオンリーダー育成事業」（りんごと学習冊子を教材提供、りんごを使ったオリジナルレシピコンテスト開催）を実施しているほか、各地区青森りんごの会を通じて、全国の幼稚園・小学校等でりんごの食育活動を展開している。

## 1 6 青森県漁業協同組合連合会

事業名 ①	出前講座/料理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	年次数回
場 所	県内小学校/中学校
活動内容・参加者等	出前講座：県内小学校(3ヶ所)において、ほたて養殖漁業とほたてについての特別授業を開催。9/8 原別小学校、11/12 古間木小学校、 11/2 和徳小学校 料理教室：ほたて及び地元の食材(魚介類)使用し、弘前市で開催。
事業名 ②	佐井村うに祭り (佐井村・青森市同時開催)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	6月21日
場 所	青森県水産ビル敷地内(青森市安方)
活動内容・参加者等	例年佐井村のみで実施するという祭りを20周年を記念して、青森会場でも実施。うに丼500食の他、十三湖産しじみ、ホタテ製品、サケ製品等を販売し魚介類、魚介加工品の美味しさ・魅力を消費者にPRした。
事業名 ③	青森ほたて料理ガイドブック
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-2
期 日	通年
場 所	随時(加工業者、イベント時に配布)
活動内容・参加者等	青森ほたてお料理ガイド及び青森ほたて干貝柱料理ブックを作成し配布
備 考	①、③は青森県ほたて流通振興協会が主体

## 17 公益社団法人青森県物産振興協会

事業名①	県内催事等への県内事業者の出店支援
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1
期日	不定期（通年）
場所	県内量販店、新青森駅、アスパム等
活動内容・ 参加者等	<p>県内の催事等に出店する事業者の募集、取りまとめを行い、事業者の販売を支援した。</p> <p>消費者に対して、出店事業者が農林水産物やその加工品の魅力をPRしながら販売を行った。</p>

## 18 株式会社ユニバーズ

事業名 ①	カルビーSDGs 教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和7年6月18日
場 所	盛岡市立北厨川小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市立北厨川小学校5年生が対象。</li> <li>・SDGsの目標やリサイクルマーク、リサイクルの方法について学び、クイズやミニゲームを交えて、リサイクルが必要な理由を考えました。</li> </ul>
事業名 ②	キューピードレッシング教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2
期 日	令和7年9月3日
場 所	階上町立石鉢小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階上町立石鉢小学校3年生が対象。</li> <li>・ドレッシングの歴史や作り方、野菜を食べる大切さなどを学び、ドレッシング9種類の食べ比べを行いました。</li> </ul>
事業名 ③	亀田製菓 ナイスライス！スクール
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、3-1、3-2
期 日	令和7年10月9日
場 所	十和田市立藤坂小学校
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十和田市立藤坂小学校3年生が対象。</li> <li>・お米の収穫量や稲作から精米までの過程、および米菓の特徴や作り方について学びました。</li> <li>・せんべい生地の手焼き体験を行い、焼き立てのせんべいを試食しました。</li> </ul>
事業名 ④	グリコ ビス校
第4次食育推進	基本方向1-2

計画への位置付け	
期 日	令和 7 年 10 月 8 日
場 所	青森市立三内小学校
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森市立三内小学校の 3 年生が対象。</li> <li>・乳酸菌の種類と特徴を学びました。また、ミニゲームを通して、「おなかにうれしい菌(プロバイオティクス)を含む食材」と「おなかにうれしい菌のエサになる成分(プレバイオティクス)を含む食材」や、プロバイオティクスとプレバイオティクスを組み合わせる「シンバイオティクス」について学びました。</li> </ul>
事業名 ⑤	カルビースナックスクール
第 4 次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2
期 日	令和 7 年 10 月 29 日
場 所	弘前市立小沢小学校
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市立小沢小学校 3 年生が対象</li> <li>・おやつ必要性(量や時間)や商品の裏(原材料表示)の見方を勉強し、望ましい食習慣について学びました。</li> </ul>
事業名 ⑥	キッコーマン食品減塩教室
第 4 次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-1、1-2、2-1
期 日	令和 7 年 11 月 5 日
場 所	青森市立戸山西小学校
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森市立戸山西小学校の 6 年生が対象。</li> <li>・食事に含まれる食塩の量を予想したり、減塩醤油の作り方を学びながら、自分で出来る減塩の方法を考えました。</li> </ul>
事業名 ⑦	うまいもん甲子園出場高校応援
第 4 次食育推進 計画への位置付け	基本方向 3-1、3-2
期 日	令和 7 年 11 月 2 日
場 所	住友不動産西大崎ガーデンタワー
活動内容・	・地元の食材を使用したアイデアメニューの調理とプレゼンテ


参加者等	<p>ーションを競う料理コンテスト。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前実業高校が北海道・東北エリア大会を勝ち進み、決勝大会で優勝しました。</li> <li>・受賞作品「じゃわ愛すしこパフェ」は西津軽の郷土料理「すしこ」を使用し、すしパフェに仕立てたメニューです。弊社にて商品化、販売を予定しております。</li> </ul>
事業名 ⑧	全農主催 青天の霹靂発売イベント
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、3-1
期 日	令和7年10月11日
場 所	ユニバース ラ・セラ東バイパス店
活動内容・参加者等	青天の霹靂の新米発売を記念した試食、晴天の霹靂のおにぎり無料配布など。
事業名 ⑨	キッコーマン 減塩イベント
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、2-1
期 日	令和7年5月17日
場 所	ユニバース十和田東店
活動内容・参加者等	5月17日の「高血圧の日」に合わせて、減塩しょうゆ、減塩醤油を使用したメニューの試食イベントを実施。
事業名 ⑩	チラシでの青森県産品特集企画
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、2-3、3-1
期 日	令和7年3月11日、7月30日、11月7日
場 所	
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ紙面上で「青森のうまいもの」「地元のうまいもの」と題し、地元の特産品などを特集。</li> <li>・11/7号では、むつ版で「むつのうまいは日本一」の特集を実施</li> </ul>
事業名 ⑪	青森県、国分東北様合同開催 健康応援フェア

第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1
期 日	令和7年2月8日、9月27日
場 所	ユニバース ラ・セラ東バイパス店
活 動 内 容 ・ 参 加 者 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は国分東北様と共同、2回目は青森県、国分東北様と共同で店内イベント「健康応援フェア」を開催。</li> <li>・イベント内容は「血圧」、「骨健康度」、「血管年齢」の測定、管理栄養士への栄養相談など。</li> </ul>
事 業 名 ⑫	チラシでの環境配慮商品特集を企画
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和7年6月3日、10月31日
場 所	
活 動 内 容 ・ 参 加 者 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ紙面にて包装資材削減やラベルレスなどの環境配慮商品を集める。</li> <li>・6月、10月を環境月間とし、各店舗の売り場にて環境配慮商品を集めて陳列。</li> </ul>


## 19 株式会社マエダ

事業名 ①	地場商品のコーナー展開
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	通年
場 所	マエダストア全店
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地産地消」を目的に地場野菜・加工品の仕入れ販売。</li> <li>・全店に常設コーナーを設置し店舗近隣農家さんより仕入販売。</li> </ul>
事業名 ②	青森県産品の推奨
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	毎月1回(3日~4日間)実施
場 所	マエダストア全店
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産品(生鮮食品・加工品)を仕入販売し「地産地消」への取組</li> </ul>

## 20 紅屋商事株式会社

事業名 ①	紅屋の食育
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3
期 日	年10回（8月、12月を除く月一回開催）
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	<p>月毎に食育テーマを設定し、情報提供、バランスの良い献立提案、試食提供を実施。毎回、減塩（塩分量見本掲示）・野菜摂取（生・加熱野菜で量目見本展示）の推奨を行い、県産食材、県内加工品も献立に活用し、店内・広告等で紹介。</p> 
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	管理栄養士監修の献立を提案。各店舗で独自のイベント実施。体験型イベント（野菜350g重量当て、塩分チェック他）やテーマに沿ったアンケート、クイズなどで食育取り組みへの一步を提案。
備 考	令和8年度も実施予定。
事業名 ②	食育通信 ベニーズキッチン
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3
期 日	年6回発行（2カ月に一回発行）
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	事業名①の取組み内容を店内配布ポイントカタログ「ベニークラブ」に掲載。食育情報シートや活動写真を掲載。
備 考	令和8年度も実施予定。
事業名 ③	こども食育新聞
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項1、2
期 日	年12回
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗、食育WEBサイト
活動内容・	月毎に食育テーマを選定し、月一回発行。店内配布、食育WEB

参加者等	サイトで配信。
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	季節や行事に合わせた食や生活習慣にまつわる内容を紹介。文字を大きく、漢字にはルビを振り、イラストを多用して読みやすく工夫。
備考	令和8年度も実施予定。
事業名 ④	だし活推進
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向2-1、3-1
期 日	年5回
場 所	カブセンター、ベニーマート 計5店舗
活動内容・ 参加者等	できるだしを使用したレシピ作成、店舗での試食提供を実施。 10月は事業名①の食育活動でできるだしの推進活動を11店舗で実施。
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県農林水産部、県内メーカー他、だし活協議会の協力のもと実施。
備考	令和8年度も実施予定。
事業名 ⑤	食育WEBサイト
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1、1-4、2-1、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	<a href="https://www.beny.co.jp/healthylife/">https://www.beny.co.jp/healthylife/</a>
活動内容・ 参加者等	事業名①③④の他、レシピや旬のおすすめ商品等を提案する食育WEBサイト。
取組の具体的な手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	毎月の食育活動やだし活の実施報告記事や季節に合わせた情報をタイムリーに発信。各SNS、YouTubeとも連動している。
備考	令和8年度も実施予定。
事業名 ⑥	野菜摂取推進 料理教室
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-3、3-1、3-2、
期 日	令和7年6月～8月 計3回

場 所	青森、弘前、八戸 3会場
活動内容・ 参加者等	<p>「ベジチャレンジ！料理教室」</p> <p>野菜摂取の講演とレシピ7品の料理教室の実施。</p> <p>1) 弘前会場 令和7年6月13日 弘前市総合学習センター 参加人数 20名</p> <p>2) 弘前会場 令和7年7月29日 アピオあおもり 参加人数 20名</p> <p>3) 八戸会場 令和7年8月28日 ポータブルミュージアムはつち 参加人数 10名</p> <p>10～80代と幅広い年代が参加。</p> 
取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	平均寿命と健康寿命、食選力、野菜摂取量（世界と日本）についての講演、野菜摂取への意識付け。一緒に調理、試食することで楽しい時間を共有、共食の場の提供にもつながる。参加者全員より次回も参加したいとの評価有。上記の他、岩手県でも開催。（青森県産米などの紹介も含む）
備 考	令和8年度も実施予定。
事業名 ⑦	「青森県産品愛用応援」キャンペーン
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向1-4、3-1
期 日	令和7年9月7日～11月5日
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
取組の具体的手法 や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県主催キャンペーンの協力店。啓発資材（ポスター）の店内掲示、応募箱設置。9月6日県知事来店キックオフイベント。9月27日放送県広報番組出演。

## 2 1 公益社団法人青森県看護協会

事業名 ①	健康祭り等への参画（東青支部による支部活動）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	令和7年9月6日(土)
場 所	青森県総合社会教育センター
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あおもりシニアフェスティバル」に参加し、来場した一般住民を対象に、血圧測定、血管年齢測定、体重・体脂肪測定、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</li> <li>・参加者 延べ356名</li> </ul>
事業名 ②	健康祭り等への参画（下北支部による支部活動）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	令和7年11月1日(土)
場 所	大畑体育館
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大畑商工まつり」に参加し、来場した一般住民を対象に、血圧測定、骨密度測定、体組成測定、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</li> <li>・参加者 延べ141名</li> </ul>
事業名 ③	健康祭り等への参画（上十三支部による支部活動）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	(1)令和7年9月28日(日)、(2)令和7年11月30日(日)
場 所	(1)三沢市総合社会福祉センター、(2)横浜町なの花にこにこセンター
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三沢市社協まつり」及び「横浜町健康フェスタ」に参加し、来場した一般住民を対象に、血圧測定、骨密度測定、健康相談に従事し、生活習慣病予防等の食育に係る活動を実施した。</li> <li>・参加者 (1)延べ157名、(2)延べ72名</li> </ul>
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護協会の会員である看護職が、他団体と連携し、健康祭り等の地域のイベントに参加し、一般住民への健康づくりに係る知識・技術の提供に継続して取り組んできている。</li> </ul>

## 2 2 公益社団法人青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション1
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-1、配慮すべき事項1
期 日	令和7年度
場 所	栄養士会事務所
活動内容・参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施 HP随時
事業名 ②	「サンロード青森健康促進デー」あおもり栄養ケア・ステーション2
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年9月27日(土)~28日(日)
場 所	サンロード青森 1F サンホール
活動内容・参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩チラシ 食育エプロンの展示、ヘルシーダイアリーの配布 栄養相談 27~28日 65名
事業名 ③	普及啓発事業 1 (弘前健康まつり)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年7月13日(土)
場 所	ヒロロスクエア
活動内容・参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリー等減塩に関する展示 ジュースからの糖の摂取量の展示、 野菜の摂取量についての重量当てクイズ 食事・栄養相談 参加者数 約500名
事業名 ④	普及啓発事業 2 (八戸市健康フェスタ 2025)
第4次食育推進	基本方向1-1、1-5、2-1、3-1

計画への位置付け	
期 日	令和7年9月29日(日)
場 所	八戸市総合保健センター
活動内容・ 参加者等	減塩タペストリー・減塩レシピ等減塩に関する展示、 間食について(間食 200Kcal 以内組み合わせ例の展示) 野菜 350g 計量体験 栄養相談 19名 ブース参加者 227名
事業名 ⑤	普及啓発事業 3 (あおもり QOL 健診フェア)
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年10月11日(日)
場 所	サンロード青森 1F サンホール
活動内容・ 参加者等	ステージクイズ 「QOL アップ!知って得する食事のコツ」～クイズにチャレンジ～ (栄養士会発表 来場者 35名) フェア参加者 838名
事業名 ⑥	普及啓発事業 4 (十和田市南コミュニティまつり)
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年10月19日(日)
場 所	十和田市南コミュニティセンター
活動内容・ 参加者等	栄養相談コーナー 60名 減塩のぼり、減塩タペストリーの展示 参加者 100名
事業名 ⑦	普及啓発事業 5 (東北町健康・福祉まつり)
第4次食育推進 計画への位置付け	基本方向 1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年11月2日(日)
場 所	東北町保健センター
活動内容・ 参加者等	栄養相談コーナー 減塩のぼり・減塩タペストリーの展示、減塩クイズ 参加者 201名

事業名 ⑧	普及啓発事業 6 (健康づくり市民のつどい)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年11月22日(日)
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」 (来場者 約330名) 減塩のぼり、減塩タペストリーの展示、栄養クイズ 食品の塩分量モデル展示、各疾患のパンフレット、栄養相談
事業名 ⑨	普及啓発事業 7 (健康なのはな21)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-5、2-1、3-1
期 日	令和7年11月30日(日)
場 所	横浜町にこにこセンター
活動内容・参加者等	だし作り体験コーナー 参加者 約100名
事業名 ⑩	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション 3
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、1-5
期 日	令和7年度
場 所	マエダアリーナ(青森市)
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート、卓球、カヌー等 計 32回
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県スポーツ科学センターとの委託事業

## 2 3 社会福祉法人青森県社会福祉協議会

事業名 ①	「みんなの居場所」の運営支援
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-3
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	青森県内で食を通じた居場所づくりを行っている「みんなの居場所」の登録の仕組みにより、活動や運営の支援を行っている。97ヶ所が登録されているほか、これから活動を行いたい人へのスタートアップ助成金の交付も行っている。
事業名 ②	あおもりフードバンクの運営
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-3
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	企業、団体及び個人から食品等を無償で受け入れ、その食品等を無償で活動団体へ配布する「あおもりフードバンク」を運営し、年間約40トン、267件の寄贈を受入れしている（令和6年度実績）。寄贈された食品等は、生活困窮者支援団体、みんなの居場所運営団体等の約300団体を通じて活用されている。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	「みんなの居場所」や「あおもりフードバンク」の活動団体は、社会福祉法人やNPO法人、市民団体など多様な運営形態で、活動内容も困窮者支援やこども食堂、外国人や刑余者等の支援など多様になっている。

## 2 4 一般社団法人青森県保育連合会

事業名 ①	令和7年度給食・食育研修会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和7年6月30日
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	<p>県内保育所等の給食関係者の資質及び専門性の向上を目指し開催</p> <p>「Well-beingを高める食育実践」</p> <p>講師 上越教育大学大学院 学校教育研究科 発達支援・心理臨床教育学系 教授 野口孝則 氏</p> <p>参加者 現地参加者 113名 オンライン参加者94名</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<p>子どもの「食」の視点から豊かな人間性を育み、子どもに与える栄養の意義や発育期の栄養の特性を総合的に理解する</p>



## 2 5 学校法人青森田中学園青森中央短期大学

事業名 ①	青森中央短期大学 食育講座・出前講座
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、1-5、3-2
期 日	令和7年5月～令和7年12月
場 所	県内の保育施設、公共機関、教育機関等
活動内容・参加者等	<p>本学食物栄養学科教員の専門性を活かしたテーマを設定し、対象者、目的、課題やニーズに応え、食事や栄養に関わる多様な内容の講義を実施した。</p> <p>【食育講座】2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「青森県と野辺地町の郷土料理」 対象：食生活改善推進員</li> <li>・「収穫（野菜）に関すること」 対象：園児</li> </ul> <p>【食に関する出前講座】6件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県産品を使用した商品開発」 対象：高校生</li> <li>・「健康な食事とは」 対象：一般市民</li> <li>・「自分の成長と適切な食事を知ろう」 対象：高校生</li> <li>・「伝統料理やだしを重視した子ども向けのメニュー開発」 対象：高校生</li> <li>・「離乳食について学ぼう」 対象：こども園栄養士、調理師</li> <li>・「フレイル予防の食事」 対象：一般市民</li> </ul>
事業名 ②	公開講座「本田ようーさんと学ぼう！じいじ&ばあばのための幼児食講座」
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2
期 日	令和7年6月15日（日）
場 所	アピオあおもり 1階 調理実習室
活動内容・参加者等	<p>孫育て中の祖父母を主な対象に、幼児食の調理教室を実施した。子どもだけでなく家族皆で楽しめる、栄養豊かでアレンジの利く作り置き 아이디어を学んだ。</p>

事業名 ③	産官学連携・地産地消弁当の共同開発
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-4、1-5、3-1、3-2、配慮すべき事項2
期 日	令和7年10月
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	青森県産品を使用した郷土料理を盛り込んだ地産地消弁当「ちゅっぴいおすすめ！青森の味お楽しみ弁当」を、本学食物栄養学科の学生がイオン東北株式会社、青森県と連携して開発・販売した。
事業名 ④	小学生を対象とした減塩教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、2-3、3-2
期 日	令和7年7月26日（土）
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	小学生親子8組を対象とした減塩教室を開催した。生涯にわたり健康的な生活を送るため、望ましい食生活や生活習慣を学童期から理解すること、家庭での実践につなげることを目的として、本学食物栄養学科の学生が講師となり、減塩の大切さや美味しく減塩するための工夫を紹介した。また、減塩のテクニックを取り入れた料理の試食を行った。
事業名 ⑤	高齢者施設における手作りおやつを提供
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、2-3
期 日	令和7年9月17日（水）
場 所	特別養護老人ホーム三思園
活動内容・参加者等	咀嚼や嚥下の力が低下した高齢者が「口から食べる喜び」を感じられるように、食べやすく栄養価の高いおやつを、食物栄養学科の学生が考案・調理し、高齢者施設入所者に提供した。

事業名 ⑥	保育施設での親子を対象とした調理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、2-3
期 日	①令和8年2月14日(土)、②令和8年2月28日(土)
場 所	①認定こども園青森中央短期大学附属第二幼稚園 ②認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園
活動内容・参加者等	園児とその保護者を対象に、親子が一緒に楽しみながら調理することで、食材や料理、食べることへの興味を喚起するとともに、異なる世代間で食の楽しみを共有できる食育調理教室を実施した。
事業名 ⑦	おさかな料理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、1-2、3-1、3-2、3-3、 配慮すべき事項2
期 日	令和7年6月5日(木)、令和7年11月20日(木)
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	若者世代への魚食普及や青森県産水産物の消費拡大を目指す取り組みの一環として、県内の漁業者を招き、魚介類の特徴や漁業者ならではの調理を学ぶ料理教室を開催した。各回、学生15名ほどが参加し、実際に調理し味わうことで県産水産物の魅力を体験し、さらに、水産資源を取り巻く環境、生産・流通・消費について学んだ。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森中央短期大学は、栄養学や健康教育を専門とする食物栄養学科において、栄養に関わる専門職業人の育成・教育や研究活動、地域活動を行っている。特に、青森県の豊かな食材と食文化を全ての世代間で楽しみながら継承するための食育活動展開事業や、地域の食育活動実践者の育成・支援事業など、青森県民の健康寿命の延伸と健康行動の変容を目指して、地域の市民や行政・産業界と連携、協力しながら青森県の食育活性化に取り組んでいる。

## 2 6 株式会社東奥日報社

事業名 ①	「うまい森 青いもり」フェア
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、3-2
期 日	通年
場 所	青森市（アスパム）、弘前市（さくら野）、仙台市（JR仙台駅） および東奥日報紙上
活動内容・参加者等	2016年に始まり10年目を迎えた県産品応援イベント。市町村が誇る食材・食文化を紹介する記事を新聞紙面やウェブで随時掲載している。 同様の取り組みとして11月には東京・上野公園で下北地域の市町村に特化した「あおもり下北うまいものフェア」も開催した。
事業名 ②	東通村活性化プロジェクト
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、3-2
期 日	6月28日
場 所	東通村内
活動内容・参加者等	村アンバサダーを務める料理家・栗原心平さんを迎え、村産の食材（和牛、ホタテ、アワビなど）を使ったバーベキューを楽しむイベント。抽選で選ばれた県内の親子連れが参加した。
取組の具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	「うまい森 青いもり」や「あおもり下北うまいものフェア」の会場を仙台や東京に広げ、生産者と消費者の交流人口を増やそうと図ってきた。